



交通栄誉章 緑十字金章 五島貞一さん（菅谷）

五島貞一さんが、このほど(財)全日本交通安全協会の交通栄誉章として最高位の『緑十字金章』を受章されました。これまでも交通安全活動の功勞により、緑十字銀章を受章されています。

五島さんは長年にわたり交通安全協会活動に携わり交通事故防止に尽力されています。平成6年から境地区交通安全協会副会長、平成14年からは境地区交通安全協会会長、平成23年からは茨城県交通安全協会常任理事も兼務され、交通事故ゼロを目指した活動を推進されています。



長年にわたり 地域の 環境美化活動

滝本 登さん（長谷）

滝本さんは、病気のリハビリとして自宅周辺を散歩、ゴミがたくさん落ちていたのを拾いはじめたのがきっかけとなり、以来10年以上も地域の環境美化活動を続けられています。ふだんの外出時にも道端にゴミを見かけると翌日の散歩コースにするそうで、散歩コースもだんだん広範囲になっているとのこと。

滝本さんは、「体調に合わせながらやってきたので長くやってこられた。ゴミは少なくなってきたが、たばこの吸い殻や空き缶はまだ多い。健康が続く限りは続けていきたい」と話していました。

飯島小学校で児童たちとシニアクラブの皆さんが一緒に作った餅つき大会が開催されました。幸田新田のシニアクラブ(22人)の皆さんが、小学校に呼び掛けて開催されたもの。シニアクラブの皆さんから餅のつきかたを教わると、児童たちは一生懸命に杵を振り上げていました。シニアクラブの皆さんも、手取り足取り指導しながら子どもたちとの交流を楽しんでいました。

児童たちはシニアクラブの皆さんに教わりながら杵を振り上げていました



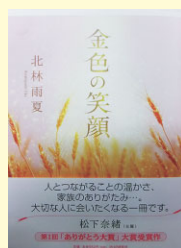
高齢者叙勲 瑞宝双光章 木村喜七さん（内野山）

木村喜七さんが、このほど88歳を迎えられ瑞宝双光章を受章されました。

木村さんは昭和25年に弓馬田中学校教諭となつて以来、昭和60年に退職されるまでの34年11か月にわたり、学校教育の充実と振興のために尽力されました。この間、弓馬田中・神大実中・飯島中・南中と、市内の中学校で自主学習に取り組む指導を推進されました。

教職を退職後も多方面で活躍され、行政区長や生涯学習推進協議会委員などを務めるとともに、退職後に学んだ表装では長年講師として活躍、現在も同クラブの顧問を務められています。

坂東市出身の北林雨夏さん 第1回「ありがとう大賞」大賞を受賞 『金色の笑顔』



脚本家・構成作家として活躍している北林雨夏さん(本名:平林幸恵(坂東市出身))が『“Arigato” Novels Award』運営事務局が主催した第1回「ありがとう大賞」で大賞を受賞、受賞作品が株式会社PHP研究所から『金色の笑顔』という題名で出版されています。市内の情景や地名、農作業の様子などが描写され、終末医療のあり方についても問いかけています。ぜひご一読ください。

北林さんはこれまでも人気番組の脚本を数多く手がけられています。



飯島小学校 小学生・シニアクラブ 一緒に餅つき大会